

ペギー・ドリザ氏への在外公館長表彰



2020年10月6日、清水駐ギリシャ大使は、ペギー・ドリザ氏に対し、ギリシャにおける日本文化の理解促進に貢献してきた同氏の功績を称え、在外公館長表彰を行いました。

ドリザ氏は2009年から2020年にかけて Japan Tobacco International Hellas において総務・コミュニケーション部長等を務め、その間当地における日本文化の普及を目的とした多くの文化事業実施に注力されてきました。その協力は在ギリシャ日本大使館主催事業にも及び、特に、毎年恒例事業として定着している日本映画祭や琉球舞踊「伊是名の会」アテネ公演（2018年）、そして日本・ギリシャ修好120周年記念事業「ジャパン・ウィーク」（2019年）における同氏の貢献は、特筆すべきものです。

表彰式では、清水大使より、ドリザ氏の長期にわたる二国間文化交流の促進における献身的な活動に対し、感謝の意が表されました。これに対し、同氏からは、今回の表彰を大変名誉なことと思っており、今後も日本とギリシャの友好関係強化のため、積極的に活動していきたい旨述べられました。

清水大使の国立考古学博物館庭園リニューアルオープン式典出席

2020年7月20日、清水大使は、国立考古学博物館において行われた同博物館庭園のリニューアルオープン式典に出席しました。本取り組みは、Japan Tobacco International 社と Ecoscapes 社の協賛により実現したもので、式典ではメンドニ文化スポーツ大臣、バコヤニス・アテネ市長等が挨拶を行い、新庭園の完成を祝しました。



アテネにおける天皇誕生日祝賀レセプション



2020年2月5日（水）、清水大使夫妻はアテネ市内のスタヴロス・ニアルホス財団文化ホールにて、天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。レセプションには、政府関係者、各国外交使節団長、ビジネス関係者、日系団体関係者、文化関係者など約500名の方が出席されました。

オープニング式典冒頭、清水大使は挨拶の辞を述べ、昨年一年間の総括として新天皇陛下のご即位、在ギリシャ日本大使館が一年間にわたり行ってきた日本・ギリシャ修好120周年記念事業について言及しました。

続いて、清水大使、フラゴヤニス・ギリシャ外務副大臣、ザリフォプロス・ギリシャ・デジタル戦略担当大臣、カトゥルガロス議員による鏡開きが行われ、来月に迫ったオリンピック聖火採火式の後、いよいよ開催される東京オリンピック・パラリンピックの成功を祈念しました。

式典後半、ギリシャにおける日本・ギリシャ間の相互理解の促進に長年貢献されてきたスティリアノス・パレクサンドロプロス・アテネ大学神学部名誉教授及びヨアンナ・ハリトゥ・バルチックいけばな小原流ギリシャ支部会長に、その功績を称えて、それぞれ旭日小綬章、旭日双光章の伝達式が行われました。

会場では、寿司をはじめとする和食に加え、日本酒に親しむ機会も提供されたほか、小原流いけばなギリシャ支部及びギリシャ盆栽クラブによる作品展示も行われ、会場に華が添えられました。

さらに、ギリシャに進出している日系企業等による日本の先進技術や当地における投資事業等を紹介するブースも出展されました。





スティリアノス・パパレクサンドロプロス氏 「秋の外国人叙勲」受賞

アテネ大学神学部名誉教授のスティリアノス・パパレクサンドロプロス氏が、令和元年度秋の外国人叙勲において、旭日小綬章を受賞しました。

これを受けて 2020 年 2 月 5 日、ギリシャにおける日本研究の発展及び日本・ギリシャ間の相互理解の促進に大きく寄与してきた同氏の功績を称え、天皇誕生日祝賀レセプションの場において伝達式が行われました。

パパレクサンドロプロス氏は、特に 1979 年に文部科学省の国費留学生として日本に留学して以降、希少なギリシャ人日本研究教授として我が国やその文化に関する研究を続け、卓越した日本語能力も生かしながらアテネ大学神学部において教鞭を執ってきました。同氏が執筆した日本に関する著書、ギリシャ語に翻訳した日本文学作品は、当地において非常に貴重な日本研究の資料となっており、ギリシャ人研究者に多大な影響を与えていると同時に、ギリシャ社会における対日理解の促進に大きく貢献しています。



ヨアンナ・ハリトゥ・バルチック氏「春の外国人叙勲」受賞

いけばな小原流ギリシャ支部会長のヨアンナ・ハリトゥ・バルチック氏が、令和元年度春の外国人叙勲において、旭日双光章を受賞しました。

これを受けて 2020 年 2 月 5 日、ギリシャにおける生け花の普及を通じて対日理解の促進に大きく貢献してきた同氏の功績を称え、天皇誕生日祝賀レセプションの場において伝達式が行われました。

バルチック氏は、ギリシャにおける唯一の生け花団体の会長として、堪能な語学力も生かしながら障害者を含む幅広い層の人々に対し、多くの生け花展示、ワークショップ等を通じて、当地における日本の生け花文化の普及に長年貢献してきました。また、2005 年から 2009 年に小原流生け花欧州師範協会会長を務めた際には、日本人生け花師範を当地へ招聘してセミナーを開催する等、彼女の活動は日本・ギリシャ間の交流及び相互理解の促進にも大きく寄与しています。

